

小山地区連H26年度活動について

小山地区自治会連合会会長 武井弘吉

当小山地区では、相模総合補給廠の一部返還と、小田急多摩線の相模原駅乗り入れにより、相模原駅周辺の整備・再開発が予定されております。

この大きな夢と期待感を胸に抱きつつ、9自治会打ち揃って、地区内各団体と協働・協力し、明るく安全なまちづくりの実現を目指しましょう。また、高齢化・少子化が進んでいる昨今、地域住民全員が参加・活動することで、地域の連帯感を高め、もって地域の絆を

強めることが求められています。そのために、小山地区恒例のふるさとまつりの盆踊り・運動会、公民館まつり、社協ふれあいまつり等のイベントを継続実施するべく、公民館・社協・老人会・子ども会・その他団体の事業に積極参加・協力していく必要があります。その為にも、この“おやま広報”を通じて地域の全員に情報を提供し、地域全体の交通・防犯、防災、環境改善等の諸活動を支援・推進しましょう。



九都県市合同防災訓練を補給廠にて実施

非常口



相模総合補給廠にて、第35回九都県市合同防災訓練（兼平成26年度相模原市総合防災訓練）が9月1日に実施されます。今年は、東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県・千葉市・さいたま市・横浜市・川崎市・相模原市の九都県市及び政府が連携して実施するため、参加予定の機関・団体数は約130、参加者数は約10,000人と、大規模な訓練となります。また、警察や消防、自衛隊や在日米軍も訓練に参加し、ヘリコプターが多数出動して離着陸する訓練も実施される予定です。同時に開催される防災フェアでは展示や体験コーナーがあり、防災に関する知識を身につけることもできます。一般観覧も出来ますので、皆さんも参加しましょう。

■実施日時■

日時 平成26年9月1日（月） 午前10時から正午まで
（防災フェア（展示・体験）は午前9時から12時30分まで）



相模原市総合防災訓練の昨年度実施風景

